



- 発行 -  
青森西高校  
生徒部  
R3.5.28  
第 2 号

## ～県春季大会を終えて～

### バレーボール部女子 優勝（4年連続17回目）

5月8日～10日の3日間で行われた大会で、見事4年連続17回目の優勝を果たしました。40校を4ブロックに分けてトーナメントを行い、各ブロック1位の4校で決勝リーグを行いました。青森西、三沢商業、五所川原商業、三沢と、近年上位を譲らない4校が揃った決勝リーグ。コロナ禍で、例年参加している遠征が中止となり、新チームになってから初めての公式戦は、圧倒的な強さを見せていたこれまでの大会とは違い、厳しい戦いとなりました。決勝リーグ1試合目の相手は三沢商業。第1セットでは23-25と相手にセットを取られてしまいます。しかし、2、3セット目で何とか巻き返して勝利。大会3日目に行われた決勝リーグ2、3試合目の五所川原商業、三沢高校には、接戦ながらも2セットを先取り、見事4連覇を達成しました。他校に比べ3年生の人数が少ないですが、優勝への思いはどこの学校よりも強いと思います。今大会の反省を活かし、連覇のかかる高校総体でも、最後まで負けることなく、輝く笑顔で終える姿を期待したいと思います。高校総体は、マエダアリーナを会場に無観客での開催となります。



### 剣道部 男子団体・個人ともに創部初の優勝

5月8～9日、県春季剣道大会が六戸町総合体育館で開催され、男子団体、男子個人（3年 西田怜音）共に、創部初の優勝を果たしました。また、女子団体も準優勝を手に入れました。西田は、決勝戦で泉を倒した相手と対戦しました。序盤、一本先取されますが、一瞬の隙を見逃さず、一本を決めました。同本数で並んだ後も西田は攻めの手を緩めず戦い、個人初優勝。団体戦でも、男女とも一瞬も気の抜けない戦いでした。女子は、先の全国選抜大会3位の東奥義塾高校との対戦でした。臆することなく、勝負を仕掛けましたが、先に攻められる場面もあり悔しさの残る敗戦となりました。男子も女子同様、東奥義塾との対戦。先鋒の泉が果敢に攻め立て流れを掴み、次鋒、中堅もそれに続けました。しかし、相手が一本リードの展開で岩谷（3年）の勝負強さが発揮され、一本を決めきり、残る大将に繋がりました。大将の西田は追いついた勢いを自分の力に変え、果敢に攻め立て初優勝を収めました。本番は高校総体です（6/5～十和田市）。この結果に奢ることなく、さらに気を引き締め、残り少ない時間で課題に向き合い、来る舞台で自分たちの剣道を見せて欲しいと思います。



### アーチェリー部 「打倒三農」を目標に高校総体へ

5月8～9日に行われた大会で、女子団体が準優勝、男子団体が第3位、女子個人では川村維子（3年）が準優勝と健闘しました。しかし、女子団体は予選を1位で通過し、優勝が見えていましたが、惜しくも優勝を逃す結果となりました。昨年からの課題としているメンタル強化のため、外部指導者による心理面の指導も受けているアーチェリー部。高校総体では三本木農業を倒し、男子は初優勝、女子は4年ぶりの優勝を手にして欲しいと思います。高校総体は、新青森県総合運動公園アーチェリー競技場を会場に無観客での開催となります。

## ★県春季大会結果★

### バレーボール部女子 優勝（4年連続17回目）

澤野花梨・山内柊子・山田実沙希・川村美貴・佐藤花和・滝沢まりん・織笠菜白・中村桜咲・角谷美来  
鈴木璃子・新岡虹海・川端杏奈・下山なの葉・立田野乃花・清野ゆかり・宮古明依・平山恵理・溝江采実  
大塚怜美・小林明日香・坂上愛唯・中田亜弥・田邊葵・金澤虹・館しずく・阿部美優・佐藤咲綺・中村夢  
工藤美月・野澤遙香・松橋美花

### 剣道部 男子 団体優勝（創部初） 泉大河・西田怜音・岩谷結大・福井輝流・倉本一輝・船橋健心

個人優勝（創部初） 西田怜音 ベスト8 泉大河 御厩敷琉生

### 女子 団体準優勝 角谷秋穂・船水理璃花・藤田萌愛・中野陽和・湊谷心・逢坂祥・工藤望愛

### アーチェリー部女子 団体準優勝 川村維子・我満希空・小山未夢・対馬紗莉

個人第2位 川村維子 第5位 我満希空 第6位 小山未夢 第8位 若松彩心

### 男子 団体第3位 丸山大仁・対馬悠人・寺山航太・小野寺一真

個人第5位 丸山大仁 第7位 対馬悠人

### バスケットボール部男女 ベスト8

### ソフトボール部女子 ベスト8

高校総体は、先行開催が5/27～陸上、29～サッカー、  
その他の競技は6/4、5～開催されます。

## 交通安全教室 テーマ：自転車での事故防止

5月10日（月）、マツダドライビングスクール青森の横澤さつきさんを講師に迎え、1学年を対象にした交通安全教室が行われました。

自転車事故について、生徒部通信第1号では、4、5月が多くなる時期であると伝えました。4月から5月25日までで、3件の自転車事故が報告されていますが、事故の原因として挙げられる理由の1つは、歩道を自転車で「右側走行」していたことです。これは危険行為の「通行区分違反」にあたります。運転免許を持たなくても乗ることができる自転車ですが、ルールを守る意識がなければ、自分の命や他人の命を奪ってしまうこともあります。どんな行為が事故に繋がるかを予測し、危険を回避できるようにしましょう。また、事故に巻き込まれた場合や起こしてしまった場合は、ケガや破損等の有無にかかわらず、相手の連絡先を必ず聞き、自分の連絡先は学校名を伝え、警察にも連絡してください。事故現場から離れた後は、加害者被害者かかわらず、相手を特定するのが難しい場合もあり、その場での対応が大切です。「もしも」の時は焦らず、冷静に対応しましょう。



5/24  
避難訓練

